

# JIS作成予定(一覧表)(廃止)

2021年9月6日現在

認定機関	産業標準 作成委員会	制定/ 改正/ 廃止	規格番号	JIS案の名称 (廃止の場合は、現行JISの名称)	JIS案の英文名称 (廃止の場合は、現行JISの英文名称)	廃止する理由	対応する国際規格番号 及び名称	対応する国際規格との 対応の程度	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始 予定
JSA	01 基本	廃止	B7440-4	製品の幾何特性仕様(GPS)－座標測定機(CMM)の受入検査及び定期検査－第4部:スキャニング測定	Geometrical Product Specifications (GPS) – Acceptance and reverification tests for coordinate measuring machines (CMM) – Part 4: CMMs used in scanning measuring mode	この規格は、スキャニング測定機能をもつ座標測定機の受入検査及び定期検査について規定するもので、2003年にISO 10360-4:2000を対応国際規格とする一致規格(IDT)として制定された。この対応国際規格は2020年に廃止され、その規定していた内容は同年改正されたISO 10360-5に組み込まれている。ISO 10360-5を対応国際規格とするB7440-5は、当該国際規格の改正に合わせて改正する予定となっているため、B7440-5の改正時に、この規格を廃止する必要がある。	ISO 10360-4:2000 Geometrical Product Specifications (GPS) – Acceptance and reverification tests for coordinate measuring machines (CMM) – Part 4: CMMs used in scanning measuring mode	IDT	無	2021年7月
JSA	05 電気	廃止	C1513	音響・振動用オクターブ及び1/3オクターブバンド分析器	Octave-band and third-octave-band analyzers for sounds and vibrations	従来は、IECの周波数分析器の規格体系は、IEC 61260(オクターブ及びオクターブバンドフィルタ)であったが、JISは、オクターブ及びオクターブバンドのフィルタ(JIS C 1514)と分析器(JIS C 1513)とに分割していた。IECが、2016年にIEC 61260を3分割[オクターブバンド及び1/Nオクターブバンドフィルタ(分析器)の第1部:仕様、第2部:型式評価試験、及び第3部:定期試験]し、規格メンテナンスの効率化を図ることとなった。このため、JISもIEC規格に整合させるために新たにJIS C 1513-1、JIS C 1513-2及びJIS C 1513-3として制定する必要があり、この3規格が制定された後、現行のJIS C 1513及びJIS C 1514を廃止する。	—	—	無	2020年4月

# JIS作成予定(一覧表)(廃止)

2021年9月6日現在

認定機関	産業標準 作成委員会	制定/ 改正/ 廃止	規格番号	JIS案の名称 (廃止の場合は、現行JISの名称)	JIS案の英文名称 (廃止の場合は、現行JISの英文名称)	廃止する理由	対応する国際規格番号 及び名称	対応する国際規格との 対応の程度	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始 予定
JSA	05 電気	廃止	C1514	オクターブ及び1/Nオクターブバンドフィルタ	Electroacoustics - Octave-band and fractional-octave-band filters	従来は、IECの周波数分析器の規格体系は、IEC 61260(オクターブ及びオクターブバンドフィルタ)であったが、JISは、オクターブ及びオクターブバンドのフィルタ(JIS C 1514)と分析器(JIS C 1513)とに分割していた。IECが、2016年にIEC 61260を3分割[オクターブバンド及び1/Nオクターブバンドフィルタ(分析器)の第1部:仕様、第2部:型式評価試験、及び第3部:定期試験]し、規格メンテナンスの効率化を図ることとなった。このため、JISもIEC規格に整合させるために新たにJIS C 1513-1、JIS C 1513-2及びJIS C 1513-3として制定する必要があり、この3規格が制定された後、現行のJIS C 1513及びJIS C 1514を廃止する。	IEC 61260:1995 Electroacoustics - Octave-band and fractional-octave-band filters	IDT	無	2020年4月
JSA	06 電子	廃止	C6121	光増幅器—通則	Optical amplifiers - General specification	この規格は、対応国際規格であるIEC 61291-1を基に、光増幅器(OA)及び光増幅器関連のアセンブリの通則として、用語及び定義、要求事項、品質評価、電磁両立性、測定方法等について規定したものである。2010年に改正されたが、その後、対応国際規格であるIEC 61291-1が2012年及び2018年に改訂され、また、光増幅器に関連する国際規格及び技術文書である、IEC 61290規格群(測定方法を定める規格であり、JIS C 6122規格群として制定)、IEC/TR 61292-1(光部品性能パラメータ)及びIEC/TR 61292-3(分類法等)についても最近の技術・市場の実態を踏まえた改訂が行われている。 こうしたことから、最新の国際規格及び関連文書の技術的内容を反映した規格として充実を図るとともに、見直しに当たっては、規格利用者の利便性の向上を図るため、規格体系についてもIEC 61291規格群と整合させることが求められており、これらに対応するため、新たなJISを制定(JIS C 6121-1)することから、この規格を廃止する必要がある。	IEC 61291-1:2006, Optical amplifiers - Part 1: Generic specification	IDT	無	2020年4月

# JIS作成予定(一覧表)(廃止)

2021年9月6日現在

認定機関	産業標準 作成委員会	制定/ 改正/ 廃止	規格番号	JIS案の名称 (廃止の場合は、現行JISの名称)	JIS案の英文名称 (廃止の場合は、現行JISの英文名称)	廃止する理由	対応する国際規格番号 及び名称	対応する国際規格との 対応の程度	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始 予定
JSA	06 電子	廃止	C6181	レーザー放射パワー及びエネルギー測定用検出器、測定器及び測定装置	Power and energy measuring detectors, instruments and equipment for laser radiation	この規格は、IEC 61040:1990 “Power and energy measuring detectors, instruments and equipment for laser radiation” を基に一致規格のJISとしたものであるが、対応国際規格であるIEC 61040が、2011年8月12日に体系の整理統合のため廃止された。我が国においても同様の状況のため、国際標準を国内規格化したJISとしての存在意義を失うこととなった。さらに、この規格を引用する法規類や他の光通信関連の規格もなく、国内独自の規格としての意義も認められないことから、この規格を廃止する。	IEC 61040:1990 Power and energy measuring detectors, instruments and equipment for laser radiation	IDT	無	2021年4月
JSA	06 電子	廃止	C6839	屋内用テープ形光ファイバコード	Indoor optical fiber ribbon cables	この規格は、屋内用光ファイバケーブルのひとつであり、国際規格IEC 60794-2-30を基にして作成された規格であるが、屋内ケーブルのIEC規格の体系が、 総則 : IEC 60794-2、 品種別通則: IEC 60794-2-10, 60794-2-20, 60794-2-30 とあるのに対し、JISの体系は、 総則 : JIS C 6870-2 品種別通則: JIS C 6870-2-10, 6870-2-20, JIS C 6839 と整合していないため、JIS C 6839をJIS C 6870-2-30として移行するのが望ましい。  また、対応国際規格であるIEC 60794-2-30が2019年に改訂されたため、これを反映するにあたり、JIS C 6870-2-30を新規に制定し、この規格を廃止する。	IEC 60794-2-30:2003, Optical fibre cables - Part 2-30: Indoor cables - Family specification for optical fibre ribbon cables	MOD	無	2021年1月

# JIS作成予定(一覧表)(廃止)

2021年9月6日現在

認定機関	産業標準 作成委員会	制定/ 改正/ 廃止	規格番号	JIS案の名称 (廃止の場合は、現行JISの名称)	JIS案の英文名称 (廃止の場合は、現行JISの英文名称)	廃止する理由	対応する国際規格番号 及び名称	対応する国際規格との JIS素案作成委員会(WG) 対応の程度	作成開始 予定	
JSA	06 電子	廃止	C6871	偏波面保存光ファイバ構造パラ メータ試験方法	Test methods for structural parameters of polarization- maintaining optical fibers	JIS C 6871は偏波面保存光ファイバの構造パラメータの試験方法を規定しており、JIS C 6873(偏波面保存光ファイバ素線)で引用されていたが、2020年のJIS C 6873の改正において、構造パラメータの試験方法は、JIS C 6822(光ファイバ構造パラメータ試験方法-寸法特性)を引用することとなり、JIS C 6871を引用する規格がなくなったため、廃止する。	—	—	無	2020年11月
JSA	05 電気	廃止	C60721-2-8	環境条件の分類—第2—8部:自 然環境の条件—火災	Classification of environmental conditions - Part 2: Environmental conditions appearing in nature - Section 8: Fire exposure	対応国際規格が廃止されており、他のJISに引用されていないため。	IEC 60721-2-8:1994 Classification of environmental conditions - Part 2: Environmental conditions appearing in nature - Section 8: Fire exposure	IDT	無	2020年12月

# JIS作成予定(一覧表)(廃止)

2021年9月6日現在

認定機関	産業標準 作成委員会	制定/ 改正/ 廃止	規格番号	JIS案の名称 (廃止の場合は、現行JISの名称)	JIS案の英文名称 (廃止の場合は、現行JISの英文名称)	廃止する理由	対応する国際規格番号 及び名称	対応する国際規格との 対応の程度	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始 予定
JSA	07 情報	廃止	X3005-13	データベース言語SQL 第13部:Javaプログラム言語を用いるSQLルーチン及び型(SQL/JRT)	Information technology - Database languages - SQL - Part 13: SQL Routines and Types Using the Java™ Programming Language (SQL/JRT)	技術動向の変化から、このJISの活用が望めないため。	ISO/IEC 9075-13:2003 Information technology - Database languages - SQL - Part 13: SQL Routines and Types Using the Java™ Programming Language (SQL/JRT)	IDT	無	2020年12月
JSA	07 情報	廃止	X4178	XMLフォーム言語(XForms) 1.0	XForms 1.0	HTML 5の進展によって、このJISで定めるXFormsは使われなくなったため。	-	-	無	2020年12月

# JIS作成予定(一覧表)(廃止)

2021年9月6日現在

認定機関	産業標準 作成委員会	制定/ 改正/ 廃止	規格番号	JIS案の名称 (廃止の場合は、現行JISの名称)	JIS案の英文名称 (廃止の場合は、現行JISの英文名称)	廃止する理由	対応する国際規格番号 及び名称	対応する国際規格との JIS素案作成委員会(WG) 対応の程度	作成開始 予定	
JSA	07 情報	廃止	X5150	構内情報配線システム	Information technology—Generic cabling for customer premises	JIS X 5150:2016は、ISO/IEC 11801:2011(ed.2.2)のIDT規格であるが、ISO/IEC 11801の第3版への改正作業が中止となり、これに代わってISO/IEC 11801-1～-6が2017年に制定された。 ISO/IEC 11801-2は、ISO/IEC 11801:2011(ed.2.2)の個別要件について改正されたものであり、ISO/IEC 11801-1は、次の全ての規格に対する一般要件を規定している。 ・ISO/IEC 11801-2: オフィス施設(旧:ISO/IEC 11801の個別要件) ・ISO/IEC 11801-3: 産業用施設(旧:ISO/IEC 24702の個別要件) 対応JIS規格なし ・ISO/IEC 11801-4: 個別住居(旧:ISO/IEC 15018の個別要件) 対応JIS規格なし ・ISO/IEC 11801-5: データセンタ(旧:ISO/IEC 24764の個別要件) 対応JIS規格なし ・ISO/IEC 11801-6: 分散型設備(旧:なし) 今回のISO/IEC規格の見直しは、AIを用いたビッグデータの活用、IoTなどに対応するための新たな配線規格の必要性などが検討されるなかで、規格体系を含めて改正する必要性に対応したものである。 基になる国際規格の変更に伴い、JIS X 5150-1及び-2を制定するため、これらの規格の制定に合わせて、JIS X 5150:2016を廃止する。	ISO/IEC 11801:2011 Information technology— Generic cabling for customer premises — Part 1: General requirements	IDT	無	2020年4月
JSA	07 情報	廃止	X6939	情報技術—事務機器—複写生産性測定方法	Information technology - Office equipment - Method for measuring digital copying productivity	技術動向の変化から、このJISの活用が望めないため。	ISO/IEC 24735:2009 Information technology— Office equipment — Method for measuring digital copying productivity	MOD	無	2020年12月

# JIS作成予定(一覧表)(廃止)

2021年9月6日現在

認定機関	産業標準 作成委員会	制定/ 改正/ 廃止	規格番号	JIS案の名称 (廃止の場合は、現行JISの名称)	JIS案の英文名称 (廃止の場合は、現行JISの英文名称)	廃止する理由	対応する国際規格番号 及び名称	対応する国際規格との 対応の程度	JIS素案作成委員会(WG)	作成開始 予定
JSA	07 情報	廃止	X9401	情報技術—クラウドコンピューティング—概要及び用語	Information technology -- Cloud computing -- Overview and vocabulary	関連する国際規格において、この規格の対応国際規格であるISO/IEC 17788:2014を含め、クラウドコンピューティングに関する用語が一つの規格に集約されることとなり、ISO/IEC 22123-1として2021年2月に制定された。このような国際規格の動きに対応して、JISにおいてもクラウドコンピューティングの用語について規定しているJIS X 9401をISO/IEC 22123-1に対応して、クラウドコンピューティングの規格群として新たに制定することとなり、これに伴いJIS X 9401を同時に廃止する必要がある。	ISO/IEC 17788:2014 Information technology — Cloud computing — Overview and vocabulary	IDT	無	2021年7月
JSA	01 基本	廃止	Z8201	数学記号	Mathematical Symbols	この規格は数学記号を規定しており前回の改正以来40年を経ている。その間に対応国際規格であったISO 31-11は、ISO 80000規格群(量及び単位)の一部となり、ISO 80000-2として制定されている。 ISO 80000規格群はJIS Z 8000規格群として多くのJISに引用されて、量、単位記号の表記及び使い方の拠り所となっている。その中でISO 80000-2は、今般の科学技術を記述するために“集合”、“行列”、“座標系”、“スカラー、ベクトル、テンソル”等の数学記号を含んでおり、JISでもこれらの記号の拠り所となる規格が必要となっている。 こうした中で、この規格に代わり、JISの国際整合化のためにISO 80000-2を基としJIS Z 8000規格群の一部としたJIS Z 8000-2“量及び単位:数学記号”の制定を予定しているため、この規格を廃止する必要がある。		無	無	2021年8月